

報道発表資料の配付日時 12月21日(木) 10時00分

発表項目	泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定に基づく立入調査結果について		
記者レクチャー	なし	発表者	
概要	<p>北海道及び関係4町村は、泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定に基づき、次のとおり令和5年度(2023年度)第3回の立入調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：令和5年(2023年)11月20日(月) 13:30～15:57 ・実施機関：北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村(7名) ・同行機関：小樽市、寿都町、蘭越町、ニセコ町、留寿都村、喜茂別町(6名) ・実施場所：北海道電力株式会社泊発電所 <p>【調査結果】</p> <p>今回の立入調査では、次の事項について確認しました。</p> <p>1 放射性廃棄物の放出・保管状況(令和5年度第2四半期分)について</p> <p>令和5年(2023年)11月15日に北海道電力株式会社から報告のあった「放射性廃棄物の放出・保管状況報告書(令和5年度第2四半期分)」の内容が、原簿と相違ないことを聴取及び関係書類の閲覧で確認しました。</p> <p>2 一般排水の水質について</p> <p>令和5年(2023年)10月13日に北海道電力株式会社から報告のあった「大気・水質等監視測定結果報告書(令和5年度第2四半期分)」の水質測定結果の内容が、原簿と相違ないことを聴取及び関係書類の閲覧で確認しました。</p> <p>また、測定場所、測定頻度及び測定方法が「泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」及びその細則に定められているとおり、適切に実施されていることを現場での目視、聴取及び関係資料の閲覧で確認しました。</p> <p>3 ビーカー破損に伴う放射性物質測定用試料(気体廃棄物)の逸失について</p> <p>令和5年10月19日に発生したビーカー破損に伴う放射性物質測定用試料(気体廃棄物)の逸失について、事象の発生原因はビーカーの経年劣化だと推定されること、作業員及び周辺にけがや汚染がなかったこと及び流出試料をウェスで拭き取り、放射性廃棄物として適切に処理したことを、聴取、関係資料の閲覧及び現場での目視で確認しました。</p> <p>また、報告値については「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」に定められているとおり補正したことを聴取及び関係資料の閲覧で確認しました。</p> <p>なお、再発防止策については検討中であり、決まり次第、道及び周辺4町村へ報告することを聴取で確認しました。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	なし
他のクラブとの関係	なし

担当(連絡先)	北海道原子力環境センター 次長 矢久保 六玄 TEL ダイヤルイン 0135-74-3131 内線 201 公用スマホ 011-585-6291
---------	--